

平成21年度（2009年度）紀要104号

Ⅲ

小学校英語

担任が行う、英語教材を活用した小学校英語授業の研究

— 授業研究・環境整備 —

小学校英語研究グループ

目 次

1. はじめに	1
2. 研究経過	1
3. 今年度の取組	1
(1) 研究授業等指導案	3
①研究大会模擬授業	
②5年公開授業	
③6年研究授業	
④5年研究授業	
⑤6年公開授業	
(2) 各グループの研究	27
①5年グループ研究報告	
②6年グループ研究報告	
③小中連携グループ研究報告	

1. はじめに

新学習指導要領が本格実施される平成23年度から、小学校高学年において、年間35時間の外国語活動が必修となります。その目標は、「外国語を通じて、言語や文化について体験的に理解を深め、積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度の育成を図り、外国語の音声や基本的な表現に慣れ親しませながら、コミュニケーション能力の素地を養う。」となっています。小学校が移行期間に入る平成21年度には、すべての小学校に副読本として『英語ノート(1, 2)』が配付されました。

本市においては、これまで、小学校英語活動のねらいを次のように定め、取り組んできました。①積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度を育てる。②英語の音声や基本的な表現に慣れ親しむ。③異なる文化を理解する。このねらいに沿って、平成18年度からは、すべての小学校の6年生を対象に学級単位で10時間英語指導助手(AET)を配置するとともに、英語活動拠点校で小学校英語活動について様々な取組を行っています。また、平成21年度には、各小学校高学年において、年間15時間以上、英語活動の授業を行うこととなっています。各小学校においては、これまで以上に担任が主体性をもって指導を行っていくことが必要になります。

本研究グループでは、昨年度から、小学校英語活動の本格的な実施をスムーズに迎えられるよう、『英語ノート(試作版)』や研究グループで作成した教材を活用した「担任が行う英語活動」の授業研究や、英語活動の本格実施に向けての環境整備の研究に取り組んできました。

今年度は、英語ノートが各校に配布されたことを踏まえ、『英語ノート』を活用した担任が行う英語授業の研究に取り組みました。研究体制としては、「5年グループ」「6年グループ」「小中連携グループ」の3グループで研究を進めました。そして、それぞれのグループが中心となって、英語ノートを教材とした5年生・6年生の研究授業・公開授業を実施しました。夏の教育研究大会においても6年生向けの模擬授業を提案しました。今後、年間35時間の英語活動の授業を行う際には、AETなしで担任単独で行う授業の方が多くなってきます。そのことを踏まえ、研究授業・公開授業・模擬授業では、必ず「担任が一人で行う」授業としました。また、電子黒板を導入する学校も増えてきています。電子黒板は、英語活動の授業において、「英語ノートデジタル版」と併用すれば、担任の指導の大きなサポートとなりうる機器です。研究授業・公開授業では、その活用にも取り組み、担任が1時間の授業を行うための、より実践的な研究をすすめました。

また、それぞれのグループが中心となって研究授業・公開授業を進めるとともに、それぞれのグループでテーマを絞り、今後の英語活動の指導に役立つ調査や教材研究を行いました。

2. 研究経過

平成21年

6月 2日(火) 第1回研究会

研究テーマ・内容、スーパーバイザー、グループ分け、今年度の予定について

6月23日(火) 第2回研究会

教育研究大会での模擬授業について、各グループの研究内容について

- 7月 6日(月) 第3回研究会
教育研究大会での模擬授業について、研究授業・公開授業の予定について
- 7月23日(木) 第4回研究会
教育研究大会に向けて・模擬授業指導案検討、研究会での役割分担について
- 8月 4日(火) 臨時研究会
模擬授業指導案再検討、ワークシート・教具類検討、試しの授業実施
- 8月17日(月) 第5回研究会
吹田市教育研究大会に向けて
- 8月21日(金) 吹田市教育研究大会 模擬授業
藤白台小学校 森可奈恵教諭 英語ノート2 Lesson6 「行ってみたい国を紹介しよう」
- 10月20日(火) 第6回研究会
5年公開授業に向けて、6年研究授業に向けて、研究大会模擬授業の反省
- 11月13日(金) 5年公開授業
吹田第三小学校 5年2組 日高敦子教諭 英語ノート1 Lesson9 「ランチメニューを作ろう」
- 12月 3日(木) 第7回研究会
6年研究授業に向けて、6年グループ研究中間報告、5年公開授業の反省、小中連携グループの研究について
- 12月11日(金) 6年研究授業
藤白台小学校 6年2組 野口佐知教諭 英語ノート2 Lesson9 「将来の夢を紹介しよう」

平成22年

- 1月12日(火) 第8回研究会
5年研究授業に向けて、5年グループ中間報告、6年公開授業に向けて
- 1月28日(木) 5年研究授業
南山田小学校 5年2組 玉城明子教諭 英語ノート1 Lesson8 「時間割を作ろう」
- 2月 8日(月) 6年公開授業
岸部第二小学校 6年1組 金崎栄一教諭 英語ノート2 Lesson5 「道案内をしよう」
- 2月19日(金) 第9回研究会
各グループの研究報告

3. 今年度の取組

(1) 研究授業等指導案

①研究大会模擬授業

小学校英語活動 模擬授業 学習指導案

授業者 吹田市立藤白台小学校教諭 森 可奈恵

1. 日 時 平成21年(2009年)8月21日(金) 14:05~14:50

2. 場 所 メイシアター 展示室

3. 学 年 6年生を想定

4. 単 元 英語ノート2

Lesson6 I want to go to Italy. 行ってみたい国を紹介しよう

5. 単元目標

- (1) 世界にはたくさんの国があり、いろいろな国の国旗や世界遺産などに興味を持つ。
- (2) 自分の思いがはっきり伝わるようにスピーチをしたり、積極的に友だちのスピーチを聞いたりしようとする。
- (3) 理由を含めて、自分が行ってみたい国を発表する。

6. 指導にあたって

本単元の指導にあたっては、まず、世界のいろいろな国の国旗や世界遺産を知る活動を通して、世界にはたくさんの国があることを知らせる。その中で、自分の行きたい国を見つけ、世界の国々についての興味・関心を持たせたい。

次に、行ってみたい国やその理由についてのまとまった話を聞いて、その概要を理解するとともに、伝えたいことを思い切り英語で話してみようという意欲を育てていきたい。また、行きたい国やその理由を考えることで、様々な国々についての興味・関心をさらに深めさせていきたい。

そして、行ってみたい国についてのスピーチをしたり、友だちのスピーチを聞いたりして、スピーチをする楽しさを体験させるとともに、行ってみたい国やその理由がはっきり伝わるようにスピーチをしたり、積極的に友だちのスピーチを聞いたりする活動をとおして、英語の音声やリズムに慣れ親しませたい。

本時では、行きたい国とその理由を伝えることを目標にする。相手に自分の考えや思いを伝える力を育成していこうとする観点から、まず、コミュニケーションの基本として、笑顔での挨拶、聞き手を意識した大きな声、アイコンタクトの3点を確認する。

次に、前時の表現を復習した後、電子黒板を用いてデジタルコンテンツを活用し、会話から聞き取れる言葉をヒントに、共通点のある絵を結ばせる。その活動の中で、人物が理由を述べていることに気づかせる。パペットを使ったデモを通し、表現(理由の言い方)を何度も練習させた後、自分の行きたい国と理由を考えさせる。

そして、ワークシートを持たせ、インタビューゲームで児童同士を交流させる。その際、児童の実態に応じて、日本語の使用も認める。

チャレンジタイムでは、「Google Earth」を使い、発表者は行きたい国へ旅立てるというお楽しみの要素を取り入れることによって児童の積極性を促し、楽しんで活動に取り組みせたい。

7 指導計画（全3時間）

第1時 世界にはどんな国があるか知る。

○世界遺産について知る。

○世界の国々の国旗や有名なものについて知る。

第2時 自分の行きたい国の言い方を知る。

○前時を振り返り、自分の行きたい国を英語で表現してみる。

A: "Where do you want to go?"

B: "I want to go to ~." の表現をチャンツ・ペア等で練習する。

第3時【本時】自分の行きたい国とその理由を伝えよう。

○前時を振り返り、自分の行きたい国の言い方を復習する。

○行きたい理由を英語で表現してみる。

○インタビューゲームを通して、友だちの行きたい国とその理由を知る。

8. 本時の目標

自分の行きたい国とその理由を英語で伝える。

9. 本時の展開

時間	児童の活動	教師の働きかけ	●指導上の留意点 ◎評価の観点（方法）
挨拶 2	あいさつをする。 Hello. I' m fine.	あいさつをする。 Hello. How are you?	●英語活動のルールを確認する。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 10px auto;"> Smile Eye Contact Loud voice </div> ●しっかりあいさつをさせる。
復習 10	国旗絵カードを見て、世界には、どんな国があったか思い出す。 自分の行きたい国の言い方を思い出す。 A: Where do you want to go? B: I want to go to ~.	国旗絵カードを見せ、国の言い方を練習させる。 ①教師の後に続いて発音させる。 ②クラスを2つに分けA・Bのパート練習をさせる。	●チャンツでリズムよく発音させる。 ●前時の表現を思い出させる。

<p>展開 30</p>	<p>それぞれの人物がどこに行きたいか聞きとり、線で結ぶ。</p> <p>もう一度スキットを聞き、それぞれの人物がなぜその国に行きたいかを聞きとる。</p> <p>インタビューゲームをする。 デモを見て、それぞれどこに行きたいか聞く。</p>	<p>デジタルコンテンツを使い、それぞれの人物がどこに行きたいか線で結ばせる。</p> <p>もう一度スキットを聞き、それぞれの人物の言っていたことを確認する。</p> <p>インタビューゲームの仕方を説明する。 パペットを用い、デモをする。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● 必要に応じて途中で止めて聞かせる。 ◎ 行きたい国やその理由についてまとまった話を聞いて、その概要がわかる。 (行動観察・英語ノート点検) ● コミュニケーションのルールを再確認する。 ● 理由の表現方法として “I like～.” を用いることを説明する。理由はどうしてもわからない場合、日本語でもよいことを指示する。
<p>A: Hi. B: Hi. A: Where do you want to go? B: I want to go to ～. I like ～. B: Where do you want to go? A: I want to go to ～. I like ～. AB: Thank you. Bye.</p>			
	<p>リピート練習をする。</p> <p>友だちにインタビューをし、ワークシートに書き込む。 チャレンジタイム</p>	<p>何人の友だちにインタビューできたか尋ねる。</p> <p>いくつかのペアを指名し、前で発表させる。</p> <p>Google Earth を用い、発表してもらった児童の行きたい所を表示する。</p>	<p>◎ 自分の行きたい国とその理由を尋ねたり、答えたりする。(行動観察・ワークシート点検)</p>
<p>挨拶 3</p>	<p>本時の学習を振り返り、振り返りカードに感想を書く。 終わりのあいさつをする。 Goodbye.</p>	<p>本時の学習を振り返らせる。 終わりのあいさつをする。 See you.</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● 本時の活動で良かった点を伝える。 ● 児童に次時への意欲を高めるようにする。

インタビューゲーム Name ()

※Hi! (大きな声で相手の方を向いて言おう。笑顔でね。)

☆自分の行きたい国と理由を友だちに伝えよう。



	名前	行きたい国	理由
	自分		
1			
2			
3			
4			
5			
6			
7			
8			
9			
10			

※Thank you!

☆理由を言う時は日本語でもいいので、相手の目をしっかり見てインタビューしましょう。

英語活動 ふりかえりカード (/)

6年 組 名前()

		とても ◎	まあまあ ○	あまり △
1	英語活動は楽しく取り組みましたか。			
2	授業はよくわかりましたか。			
3	進んで英語で話せましたか。			
4	英語ゲームは楽しかったですか。			
5	先生や友だちの話をしっかり聞きましたか。			
☆今日の学習をふりかえって感想を書きましょう。				

② 5年公開授業

英語活動学習指導案

吹田市立吹田第三小学校

日高 敦子

1. 日 時 平成21年11月13日(金) 第6時間目(14:30~15:15)

2. 学年・組 5年2組 (男子19名 女子17名 計36名)

3. 場所 5年2組教室

4. 単元名 ランチメニューを作ろう(英語ノート Lesson 9)

5. 指導観

本学級の児童は、4年生まで、英語活動をまったく行っておらず初めての取り組みである。4月から、歌やチャンツ・ゲームを取り入れながら、コミュニケーション力の育成に取り組んできた。活発な児童が多いのでゲームやアクティビティは大好きで、自らコミュニケーションを取ろうと意欲的である。本単元は児童の興味のある食べ物ということで、楽しく取り組めるものと思う。また、家庭科で学習した栄養3色にも触れ、バランスの取れた見た目にも美味しそうなランチ作りに取り組ませたい。

また、巻末絵カードを用いたいろいろなゲームに取り組ませ、メニューを紹介させたい。

6. 指導目標

- ① 世界の料理に興味を持つ。
- ② ほしいものを尋ねたり、質問に対して自分の欲しいものを伝えたりする。
- ③ 積極的にオリジナルランチメニューを発表しようとする。
- ④ 家庭科で学習したことを生かし、栄養バランスのいい献立を考える。

7. 指導計画

第一時 日本と外国では、朝食に食べるものが違うことを知る。

第二時 食べ物や料理名を知る。(カルタや神経衰弱ゲームなど)

第三時 オリジナルランチ作り

第四時 (本時) 自分の作ったランチメニューを発表し、互いの栄養バランスを評価しあう。

8. 本時の目標

- ・ 英語ノートについている絵カードを使ってランチメニューを作り、発表する。
- ・ ほしいものをたずねたり、伝えたりする。

9. 本時の展開

過程	児童の活動	指導上の留意点 ◎評価の観点
あいさつ (5)	あいさつをする。	英語で元気よくあいさつをすることにより授業の始まりを意識させる。
復習 (5)	・「バナナじゃなくて～」のチャンツをする。 食べ物絵カードを見ながら、ともにチャンツを言う。	絵カードを使って、繰り返し声に出すことで料理名を覚える。
展開1 (10) 展開2 (20)	<p>・ビンゴゲームをする。 巻末絵カードを使って、英語ノート p.58 のビンゴゲームをする。</p> <p>・ペアでスペシャルランチを作る。</p> <p>① ペアになり、各自、自分の巻末絵カードを相手と交換する。</p> <p>② 相手に、What do you like? でほしい食べ物を尋ね、 I like ～ で要求された絵カードを渡す。</p> <p>③ 各自絵カードを英語ノート p.59 のランチトレイに貼る。</p> <p>A: What do you like? B: I like ～ A: Here you are. B: Thank you.</p> <p>・数名の児童に、ランチを紹介するように言う。 What's your lunch? Very good. ・栄養三色を思い出し、バランスの取れたメニューはどれか考える。</p>	<p>巻末の絵カードを使って、ビンゴゲームを楽しむ。 ◎料理名を聞いて、理解する。<行動観察></p> <p>絵カードの中から、3種類選んでメニューを作ることとを告げ、やり方を説明する。</p> <p>できれば、家庭科で習ったように、バランスの取れたメニューが望ましいことを付け加える。</p> <p>相手のほしいものをたずねる。聞かれたら伝える。メニューのやり取りができるようにする。</p> <p>◎ペアの人に、ほしいものを伝えられたか <行動観察> <振り返りシート></p>
あいさつ (5)	振り返りをする。	よかったところを言う。

振り返りカード

5 年 組 ()

・自分のほしいものが相手に伝えられましたか？	
・おいしそうなメニューができましたか？	
・自分の目標は達成できましたか？	
・今日の感想を書きましょう。	

③ 6年研究授業

外国語活動指導案

指導者

吹田市立藤白台小学校教諭 野口 佐知

1. 日時 平成21年 12月11日（金） 6時間目（14時30分～15時15分）
2. 学年・組 第6学年2組（36名）
3. 場所 6年2組教室
4. 単元名 英語ノート
Lesson9 将来の夢を紹介しよう

5. 単元目標

1. 様々な職業の言い方に興味を持つ。
2. 積極的に自分の将来の夢について、理由を含めて紹介したり、友だちの夢を聞き取ったりする。
3. どのような職業につきたいかを尋ねたり、答えたりする表現に慣れ親し

6. 語彙・表現

○単語

teacher, doctor, racing driver, tennis player, cook, fire fighter, singer, nurse, astronaut, farmer, baseball player, soccer player, police officer, pilot, scientist, engineer

○目標となる表現

I want to be ～.

7. 児童観

本学級の児童は元気で何事にも一生懸命取り組む児童が多い。しかし、与えられた事はがんばってこなそうとするが、自分たちから積極的に与えられたこと以上をすることは少ない。

全ての授業において、間違えてもいいから自分の意見を発表しようと声かけしている。6年生になり、失敗をおそれてなかなか発表できない児童が多いからである。指名するとしっかりと意見を言える児童が多いので、教師側で指名して、発表させることも多い。一方、発言はよくするが、すぐに分からないと声を出してあきらめてしまう児童もいる。分からないと言えるクラスも大切だが、しっかりと考える前に分からないと言ってしまっている場合は問題である。それぞれの児童が伸びていけるようなクラス作りを心がけている。

また、水上大会・運動会・陸上大会・修学旅行などを通して、クラスの絆を強めるとともに、それぞれが成長してきた。しかし、友だちが傷つく言葉を言ってしまったり、上手に気持ちを伝えられなかったりすることで友だち関係が悪くなることもある。子どもたち同士がよりお互いの事を知り、よりよい信頼関係を築けるようなクラス作りが必要であると思われる。

これまでの取組

英語活動を楽しく積極的に行えるよう、最初に英語ファイルを画用紙で作った。それに1ポイントで1マスぬれるScore Board (別紙②参照)をはり、世界一周をめざしてポイントを集められるようにした。ポイントをもらおうとがんばる姿がこれまでの英語活動で多々見られた。

これまでの英語活動を通して、友だちに対する新たな気づきが出てきている。例えば「クラスのみんなのできることやできないことが知れて楽しかった」「友達がこんなことができ、こんなことができないことを初めて知った」Lesson4<できることを紹介しよう>や、「このクラスはイタリアに行きたい人が多いことがわかった」「みんなヨーロッパが好きなのかな」「他の国に行く理由がたくさんあったのでびっくりした」Lesson6<行きたい国>のようなふり返りを書く児童がでてきた。このように英語活動を通して、普段聞かないことを聞き、少しずつだが子どもたち同士が相互理解をはかることができてきている。

その他にも、「日本語では、～ごはんは朝昼夕をつけるだけだけど英語では全く違うということに気づいた」や、「日本語には時間や分といった単位があるのに英語ではすべてIt'sで表現している」のような英語自体に対する気づきも出てきている。これらの気づきを英語への興味に発展させていきたい。また、時差について世界の時間を確認することによって、自分たちで時差があることに気がつくことができ(Lesson7)、言語や文化について理解を深めることができた。さらに様々な国の英語を聞いたり(Lesson6)、アメリカ出身のALTとイギリス出身のALTの英語を聞き比べて、同じ英語でも発音が違うことに気づくことができた。振り返りのなかで「友だちといろいろな会話ができて楽しかったです。そして友だちのいろいろなことが知れてよかったです」といった内容があり、英語活動を通して、言語を学ぶだけではなく、友だちとのコミュニケーションを楽しむことができてきている。

8. 教材観

外国語活動について

外国語活動は日本語以外の言語を使ってコミュニケーションをする活動である。そのため、児童が発音したり、尋ねたり、答えたりといった活動が主な活動である。児童が自分から発信していくことが重要である。さらに、小学校では楽しく活動できることも重要である。外国語活動を楽しみながら行うことによってコミュニケーション活動における積極性をのばすことができると思われる。そして、ふだん日本語では特別に尋ねない内容も外国語活動を通して尋ねることができ、子どもたち同士の理解を深めることができる。

また、新しいことをどんどん学ぶ外国語活動では、間違ってもいいから声に出してみる必要がある。そのため、外国語活動を通して間違っても大丈夫だという雰囲気クラス作りに取り組むことができる。

さらに、様々な国の文化を知ることによって、世界に目を向けられる児童を育てることもできると思われる。

英語ノートについて

指導案など詳しく書かれていて大変参考になる部分も多い反面、小学生にとって全体的に難しいと思われる。そのため、全部使おうとせず取捨選択して使うことが大切になってくる。

Let's Listen については、CDを使って英語の発音を聞くことができる。しかし、文章を速いスピードで読んでいるので、子どもたちにとっては大変難しい。そのため、途中で止め、説明をはさみながら聞く等の何らかの工夫が必要である。また、ALTの方がいる場合は、その文章をゆっくり、または繰り返して読んでもらうこともできる。CDをうまく利用することでLesson6では様々な国の英語を一度に聞くことができた。

Chantについては扱いが大変難しい。まず繰り返しのない場合が多く、内容も少し難しい場合が多い。また、高学年になると恥ずかしくてなかなか声が出ないことがある。しかし、子どもたちが口ずさむなどの効果も見込めるため、何らかの工夫をしながら使えるとよいのではないだろうか。最初は途中でとめながら使っていくと子どもたちも取り組みやすいと思われる。

ゲームについては、多くのゲームが詳しい説明とともに載っているため大変参考になる。子どもたちはゲームが大変好きなので単語の反復練習などに活用するとよいと思われる。

本単元について

本単元は「将来の夢を紹介しよう」という内容である。自分たちの夢を語れるようになるのはもちろんのこと、世界にはみんなと同じように夢を持ってがんばっている子どもたちがいることに気づかせることができる。

題材が夢ということで児童が興味を持って取り組める。自分の夢を伝えたい、友だちの夢を知りたいという気持ちで授業のぞめると思われる。

また、友だちの夢を知ること、新たな一面を見つけたり、お互いがんばろうという気持ちを持つことができるのではないだろうか。さらに夢だけではなく理由をつけることで、より思いを伝えたいという児童の気持ちにも対応できる。

9. 指導観

外国語活動を通して、本学級の児童の課題である積極性を育てたい。そのためにゲームを多く取り入れ、楽しみながら授業に積極的に参加できるようにした。また、第4時にスピーチをすることによって、児童からの発信の場を設けた。

本学級では間違ったらどうしようと思い発言できない児童もいる。そのため、必ず全員が一人で発言する活動を行う。本時で行うチェーンゲームがそれである。また、インタビューでは発言しにくい児童には声かけをおこなっていく。その中で自信を持ち、次の活動につなげてほしい。

その反面、すぐに分からない、と声を出してあきらめてしまう児童がいる。英語を使った外国語活動は、教師の英語をすべて理解する必要はない。前後の分かる単語やジェスチャーから教師の言いたいことを推測することも大切である。実は日本語もすべての語句を聞き取っているわけではなく、推測しながら理解している。このような思考は読書等で分からない言葉がでてきたときにも必要である。この思考を外国語活動を通して意識的に訓練することも大切であると思われる。そのため、すぐに分からないと言ってしまふ児童にはもう一度ゆっくり英語で言ったり、ジェスチャーをするなどして理解を促すようにこころがけている。

第2時において、世界の子どもたちの夢を聞かせる。ただただ聞かせるだけでなく、世界でも同じように夢に向かってがんばっている子どもたちがいることを知らせ、世界に目を向けさせたい。また今回だけで終わることなく、今後の平和学習の際にも思い出すよう声かけをしていきたい。

本単元では子どもたちは恥ずかしながらも夢を伝えることに興味を持っているようである。自分の夢が英語でなんというのかを知りたがる姿も見られた。また、友だちの夢を知りたがる姿も見られた。興味を持って、友だちの夢を聞くことで、友達の新たな一面を見つけたり、お互いがんばったりできるようになってほしい。そのために第4時までにスピーチの下準備をしておき、第4時では全員の夢をスピーチさせたい。さらに夢だけではなく理由をつけることで、より思いを伝えられるようにしたい。こういった活動を通して、子どもたち同士の理解を深め、よりよい信頼関係を築いていってほしい。

10. 主な評価規準

- 英語の音声に楽しく慣れ親しもうとしている。
- 将来つきたい職業について、相手に尋ねたり答えたりしようとしている。
- 世界には、自分たちと同じように将来に夢を描いている子どもたちがいることを知ろうとしている。

11. 単元計画について（単元について）

	第1時	第2時	第3時（本時）	第4時
題材名	様々な職業の言い方を知ろう。	あなたのつきたい職業は何ですか。	私の夢を聞いてください。	
目標	様々な職業の英語での言い方を知る。	世界には、自分たちと同じように将来に夢を描いている子どもたちがいることを知るとともに、将来つきたい職業について話されていることを聞いて理解する。	将来つきたい職業について、尋ねたり答えたりする。	スピーチ・メモをもとに、理由を含めて自分の夢を紹介する。
扱う表現	teacher, doctor, racing driver, tennis player, cook, fire fighter, singer, nurse, astronaut, farmer, baseball player, soccer player, police officer, pilot, scientist, engineer			
		What do you want to be?		I like ~.
活動内容	Practice 職業の言い方を知ろう。	Let's Play 集中力ゲーム	Let's Chant ♪When I Grow Up♪	Let's Chant ♪When I Grow Up♪
種類	聞く・話す活動	聞く活動	聞く・話す活動	聞く・話す活動
形態	全体	全体	全体	全体
活動内容	Let's Listen どの人の自己紹介だろう。	Let's Listen 世界の子どもたちの夢を知ろう。	Let's Play チェーン・ゲーム	Activity スピーチをしたり、友達のスピーチを聞いたりしよう。
種類	聞く活動		聞く・話す活動	
形態	全体	グループ		
活動内容		Activity インタビューをしよう。		
種類	Let's Play ビンゴ・ゲーム	聞く活動	聞く・話す活動	
形態		全体	グループ	
活動内容		Let's Chant ♪When I Grow Up♪	Activity スピーチメモを作成しよう。	
種類	聞く活動	聞く・話す活動	書く活動	聞く・話す活動
形態	全体	全体	全体	全体

12. 本時の目標（第3時）

将来つきたい職業について、尋ねたり答えたりする。

13. 本時の展開

過程 (分)	活動		留意点 ◎評価の観点(方法)
	児童	HRT	
1. Greeting (3)	あいさつをする。 ☆別紙①参照		
2. Review and warm up (15)	フラッシュカードで単語練習。	変化をつけてくり返させる。	
	Let's Chant ♪When I Grow Up♪	CDを流す。必要であれば止めながら流す。	
	Let's Play チェーン・ゲーム ・ゲームのやり方を知る ・グループごとに行う	・チェーン・ゲームのやり方を説明する。	・実際に児童にデモンストレーションをさせながら説明する。
3. Topic (20)	将来つきたい職業について、尋ねたり答え方を知る。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;">A: Hello. What do you want to be? B: I want to be ~. B: What do you want to be? A: I want to be ~. B: Thank you. A: Thank you.</div>	・表現をデモンストレーションで示す。	
4. Practice 1	Activity 1 インタビューゲームをする。 ・インタビューの仕方を知り、自分の夢を尋ねたり、答えたりする。	・インタビューゲームの方法を説明する。	◎将来つきたい職業について、相手に尋ねたり答えたりしようとしている。 (行動観察・英語ノート点検)
5. Challenge	何人か前で発表する。		
6. Practice 2 (5)	Activity 2 スピーチメモを作成する。 ・スピーチメモの作成の仕方を理解する。 ・理由も考え、絵などを使って表現する。	・スピーチメモを作成方法を説明する。 ・理由も考えるよう声かけする。	・理由は英語でいえない場合、日本語でもよいことを伝える。 ・書きにくい子には例を示すなど、声かけをする。
7. Greeting (2)	本時の振り返りをする。 ・あいさつをする。 Good bye. See you.	・次時に全員が夢についてスピーチをすることを伝える。 ・あいさつをする。 Good bye. See you.	・次時への意欲を高めるようにする。

別紙①

Greeting

- ① [HRT] Stand up, please.
- ② [HRT or ALT] Hello, everyone.
- ③ [All] Hello ().
- ④ [HRT or ALT] Who is today's Class Leader ?
- ⑤ [HRT] () please.
- ⑥ [HRT] Sit down, please.

- [CL] Let's study English lesson. [All] Let's study English lesson.
- [CL] What is the date today ? [All] It's ~. (ex)It's May 25.
- [CL] What day is it today ? [All] It's ~. (ex)It's Monday.

- [CL] How is the weather? [All] It's sunny.
It's rainy.
It's cloudy. etc...
- [CL] How are you ? [All] I'm fine.
I'm O.K. etc...

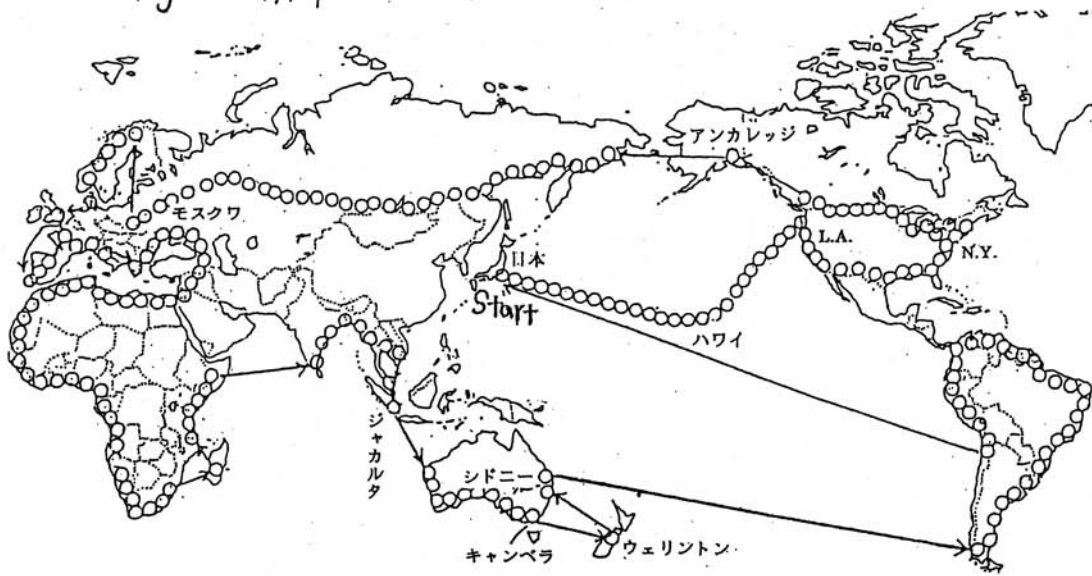
英語活動ふりかえりカード				
月 日		Name		
		◎	○	△
1	英語活動は楽しかったですか。			
2	活動内容はわかりましたか。			
3	進んで英語を話せましたか。			
4	進んで活動に参加できましたか。			
5	先生の話をしっかり聞けましたか。			
今日の活動内容や感想				

別紙②

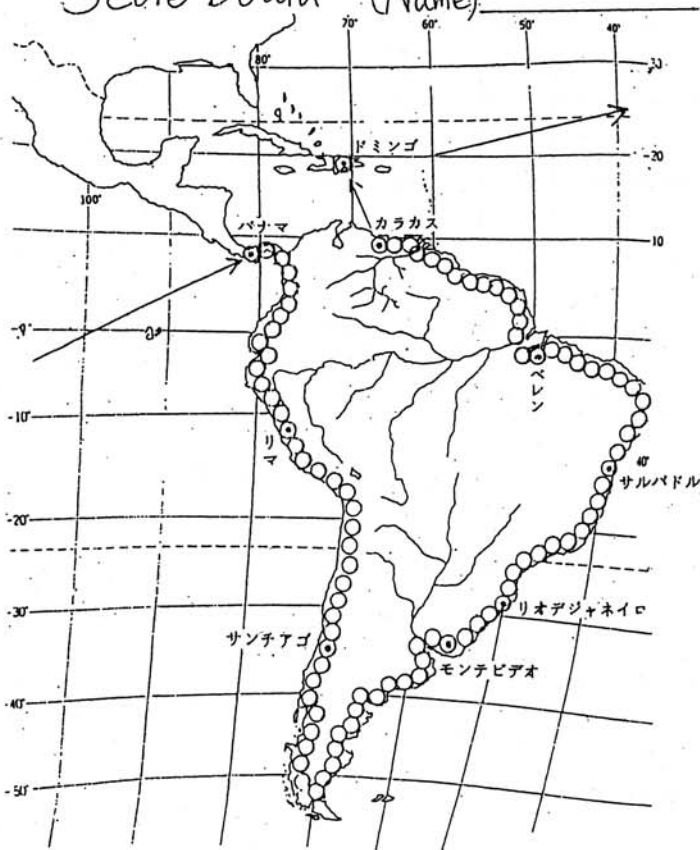
SCOREBOARD

No. _____ Name _____

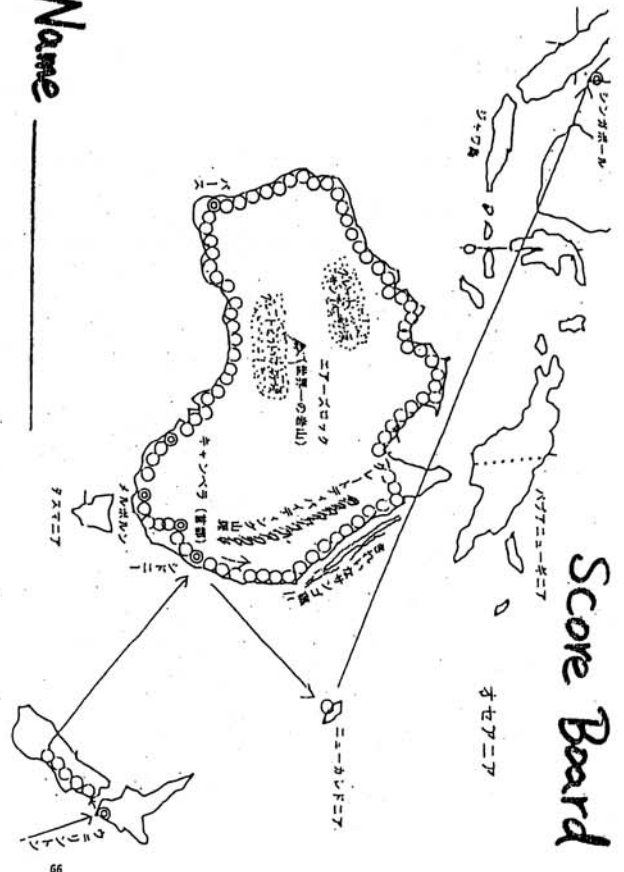
※ game で得た point が右のようにつづいていく。



Score Board (Name)



Name _____



Score Board

④ 5年研究授業

英語活動学習指導案

指導者 吹田市立南山田小学校教諭 玉城 明子

1. 日時 平成22年1月28日(木) 6時間目(14時30分～15時15分)
2. 学年・組 第5学年2組(39名)
3. 場所 第二多目的室
4. 単元名 英語ノート1 Lesson8 時間割を作ろう
5. 単元目標

- ①世界の小学校の学校生活に興味を持つ。
- ②積極的に自分たちの作った夢の時間割を伝えようとする。
- ③英語で自分たちが作った夢の時間割を伝える。

6. 語彙・表現

* 単語

教科: **Japanese, math, science, music, P.E., arts and crafts, social studies, home economics**

曜日: **Sunday, Monday, Tuesday, Wednesday, Thursday, Friday, Saturday**

* 扱う表現

I study _____ on _____.

What subject is this?

What do you study?

7. 指導にあたって

本学級の児童は朗らかで前向きである。何にでも楽しんで取り組み、委員会など責任を伴う仕事を喜々として意欲的に行っている。友だちにも優しく、学習の時間などでは分からないところを教え合うなど協力する姿勢も見られる。しかし、緊張しやすい子どもが多く、学級の中では安心して活動できるが、参観日など保護者や外部の人がいると自分たちの良さがなかなか出せないことが多い。また発表の声が小さく、聞き手が頑張って聞き取っているという状態も少なくない。全ての時間で自分の思いや考えを相手に伝えるということを意識させ、声の届け方を日々指導している。

英語活動の中で、**Eye contact, Smile, Loud voice**, の3つの約束を意識させて活動を行っている。子どもたちは友だちと英語でコミュニケーションを取ることを比較的楽しんで行っており、ペアやグループでは積極的に活動することができる。しかし全体の前でとなかなか堂々とできないことが多いので、**Loud voice** を意識して英語活動を行うことで日々の活動にも生かしていきたいと思っている。

英語活動では毎時間ゲームを取り入れ、英語に親しんだり、単語や表現の練習を楽しんでできたりするようにしている。本単元では子どもたちに身近な時間割を題材にしている。このため、場面に入りやすく楽しんで活動できると考える。しかし教科の単語は子どもたちには馴染みがなく、難しいように感じる。このため、無理に覚えるのではなく、表現を知って発音してみる程度に留めたい。1時間に扱う教科も少なめにし、負担をかけないようにする。単語には配慮があるが、**Study**などは馴染み深い表現であり、絵カードや3学期の時間割表を使用することで実生活と結びつけて活動を進めたい。単元の最後には自分の夢の時間割を組んで発表する活動がある。普段から「こんな時間割だったらいいのに」と話すことが多いので、その目標に向かっていろいろな表現を練習させたい。そして5年

生最後の単元として全体の前で発表する機会を設け、6年生に向けてのステップと、みんなに伝えるための **Loud voice** を達成させたいと考える。

＜これまでの取組＞

本校では、新学習指導要領の移行期ということで今年度5、6年生では年間20時間英語ノートに沿っての指導を計画している。5年生では今まで **Lesson1** 世界の「こんにちは」を知ろう、**Lesson4** 自己紹介をしよう、**Lesson5** いろいろな衣装を知ろう、**Lesson6** 外来語を知ろうを学習してきた。5、6年生共通して授業の始めに **What's the date? , What day is it today? , How is the weather?** の3つの質問をするようにしている。日時の言い方はきちんと練習していないので正確に覚えているわけではないが、質問の意味はわかっており、指導者のあとに繰り返すことで少しずつ練習している。英語活動の時間が毎週とれないので、少しでも慣れるように本学級では毎日健康観察を英語で行い、**How are you?/I'm fine.**の表現は言えるようになってきている。また5、6年の教室にはひとこと英語の日めくりカレンダーを作り掲示している。子どもたちは何気なくいろいろな英語の表現に触れ、口ずさんでいる。

本校はAETが年間各クラス10時間配置されているので、AETが授業に入っている時に新しい単語や表現を練習するようにして、そのほかは担任がすべて一人で行っている。このため、AETに協力してもらい、ICレコーダーに新出単語を録音して音声の指導の助けにしている。少しずつデータを増やしていく予定である。

8. 評価規準

- 世界の小学校生活に興味を持とうとする。
- 英語の音声に楽しく慣れ親しもうとする。
- 自分の作った夢の時間割を伝えようとする。

10. 本時の目標

- ・世界の小学校の学校生活に興味を持つ。(ア)
- ・教科の言い方を知り、楽しんでゲームをする。(イ)

11. 本時の展開

過程	児童の活動	指導者の活動	評価の観点・方法 準備物
挨拶 (5分)	Hello, everyone. /Hello, Ms. Tamaki. What's the date? What day is it today? How is the weather?		
展開① (10分)	①中国語で書かれた文字を見て、何の教科か考える。 図工、音楽、算数、国語 ②英語で書かれた教科書を見て何の教科か考える。 Music, Jaoanese, Math	What subject is this? ヒントとして日本語の教科書を出して考えるようにする。 絵やジェスチャーでヒントを出す。	絵カード 世界の小学校生活に興味を持とうとしている。 (観察)
展開② (10分)	教科の言い方を知り、練習する。 Japanese, math, science, music, P.E., social studies I study _____.	①CDに続いて ②リズムに乗って 何度も繰り返すようにする。	CD 絵カード 教科の言い方を知ろうとする。(観察)
展開③ (7分)	P50のLet's listenをする。	早い場合は止めながら聞くようにさせる。	英語ノート 教科の言い方を知ろうとする。(観察)
展開④ (10分)	①アレンジゲームをする。 言われた教科のカードを順番通りに並べ変える。 ②リバークロッシングゲーム カードをタッチしながら読みあげる。相手のチームと出会ったらジャンケン。勝ったチームは先へ進む。負けたら次の人と交代。先にゴールした方が勝ち。	ルールの説明をする。(デモ) 単語をランダムに言い、聞きとった順番にカードを並べさせる。 デモを見せて説明する。 ○しっかり発音するようにさせる。 ○わからない単語はチームの人に聞いて言うようにさせる。	絵カード 楽しんでゲームをしようとする。(観察)
挨拶 (3分)	振り返りカードを書く。 Good bye. See you.	この時間で友だちについて新たな発見があれば書くようにする。	(ア) (イ) (振り返りカード)

⑤ 6年公開授業

外国語（英語）活動指導案

指導者 吹田市立岸部第二小学校教諭 金崎栄一

1.日時 平成22年 2月8日（月）6時間目（14：40～15：25）

2.学年・組 第6学年1組（29名）

3.場所 6年1組教室

4.単元名 英語ノート2
lesson5 「道案内をしよう」

5.単元目標

- 1 英語で道案内することに興味を持つ。
- 2 積極的に道案内しようとする。
- 3 建物の名前や道案内の表現に慣れ親しむ。

6.扱う語彙・表現

school（学校）， police box（交番）， bank（銀行） bus stop（バス停），
flower shop（花屋）， restaurant（レストラン）， hospital（病院），
post office（郵便局）， fire station（消防署）， department store（デパート），
train station（駅）， park（公園）， bookstore（本屋・書店），
barbershop（理髪店）

Where is ～？ Turn right /left. Go straight. Stop. Thank you. Go up. Go down.

7.児童観

本学級の児童は、5年生時から AET が中心の英語活動を体験してきた。系統性は特になく、ゲームを通して単語や表現に親しむということが主体であった。

6年生からは、AET が主導で、英語ノートを教材として授業をしている。英語を話したり聞いたりする様子からは、今なお自信をもってコミュニケーションをとっているとは言えない。ローマ字を書くことも苦手な子も多く、外国語に対して壁を感じているように思われる。一方、少数ではあるが習い事として英語を学んでいる子もいる。自主学習として、中学校で習うような表現や単語を1日に数ページにも渡り学習してくることもある。ただ、英語の文法として英作文を書き写すという内容が多い。

英語活動には、2学期途中から幾度か担任主導で取り組んだ。慣れない言語を用いるという恥ずかしさはあるものの、振り返りから見ると、課題に対してグループで話し合ったり、考えたりする点においては、学習の満足度が高かった。

8.教材観

本単元では、方向を表す表現を使って、道案内を体験する。道案内という活動は、実際には言葉だけで行うのは難しいものであるが、目的地へ行きたいという必要性は非常に高いものなので、積極的に児童を参加させることは可能である。

また、日本を訪れる外国人数の増加や外国へ行く日本人数の増加は、実生活においても道を説明したり、尋ねたりという機会の増加を意味している。実生活では、地図上で「ここです。」とい説明したり、実際に連れていったりという行為で、道案内が可能であり、方向を表す表現 **right/left** などは、非常に役立つ表現である。

本単元では、道案内をするにあたり、方向を表す表現に加え、児童の実生活に密着した建物の名前についても体験的に学習する。建物を表す表現は日常生活と深くかかわっているため、毎日の生活の中で自然に繰り返し触れることができる題材としても可能である。また、コンビニエンス・ストアやデパートなど、カタカナになっているものを扱うことで、英語と日本語の発音やアクセントの違いに気付かせることも可能である。

9.指導観

この単元では、実生活に密着した建物の名前についても体験的に学習する。カタカナになっている建物を扱うことによって、日本語と英語の発音やアクセントが違うことに気づかせ、言語への興味を育てていきたい。そこで、英語ノート（デジタル版）を活用し、ネイティブの発音に触れさせる。また、さまざまなゲームを通して、楽しみながら英語の単語や表現に慣れ親しませたい。

また、方向を表す英語の単語（**right・left** など）は、知識としては知っていても、実際にそれらの表現を使って目的地まで人を導くことは難しいと考えられる。そこで、グループ活動やゲーム形式など、児童が安心して取り組める体験的な活動を多く取り入れていきたい。そして、学校探検という好奇心を刺激する要素を取り入れた活動の中で、ペアで道案内を楽しむ体験をさせ、英語活動に対してより親近感を持たせられるよう指導したい。

10.評価規準

英語表現を用いた活動に積極的に参加している。

内容を聞き取ったり、発話したりしようと努力している。

相手の立場に立って活動している。

11.単元計画

第1時・・・建物やお店の言い方を知ろう

第2時・・・方向や動作を表す言い方を知ろう

第3時・・・方向や動作を指示する英語を使って、グループで道案内をしよう

第4時（本時）・・・方向や動作を指示する英語を使って、ペアで道案内をしよう

1 2.本時の目標

- ・実際に道案内をしたり、案内に従って目的地に行ったりする。

1 3.本時の展開

過程	児童の活動	指導者の活動	留意点 ○評価
挨拶 (3分)	挨拶をする。 How are you? Ok. Great. sleepy. など		コミュニケーションのポイントを確認する。 (声と視線) 表現を簡単に復習する。
復習1 (5分)	単語の発音練習をする。	指さしゲームをすることを告げる。	英語ノート(デジタル版)を使って、変化をつける。
復習2 (5分)	道案内で使用する表現の復習をする。	サイモン・セズをすることを告げる。	テンポよく、動作と表現とを結びつける。
復習3 (7分)	道案内の練習をする。 A : Excuse me. Where is the park? B : Go straight and turn right A : Thank you.	ペアで校内を使って道案内することを伝える。	階段の上がり方やおり方の表現を教える。 ○道案内の練習にすすんで取り組んでいる。(観察) (振り返りカード)
展開 (20分)	ペアで校内を町に見立てて道案内をする。	活動のやり方をデモンストレーションで示す。 ①ペアになり、役割を決めて目的地まで道案内をする。 ②目的地で役割を交代して、道案内を続ける。 ③教室にもどる。	○相手の立場に立って、道案内をしている。 (観察) (振り返りカード)
挨拶 (5分)	振り返りカードを書く。 挨拶をする。		

振り返りカード

月 日 名前

◎ ○ △

1 英語活動は楽しかったですか

2 すすんで活動に参加しましたか。

3 活動内容はわかりましたか。

4 協力して道案内はできましたか。

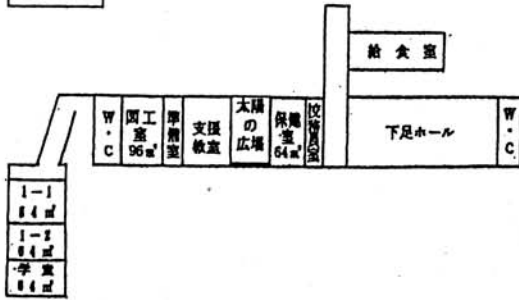
今日の感想

道案内 校内地図

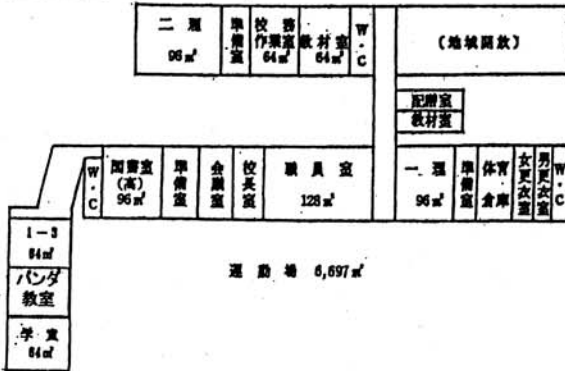
吹田市立岸部第二小学校

校地 19,005㎡
建物敷地 12,856.0㎡

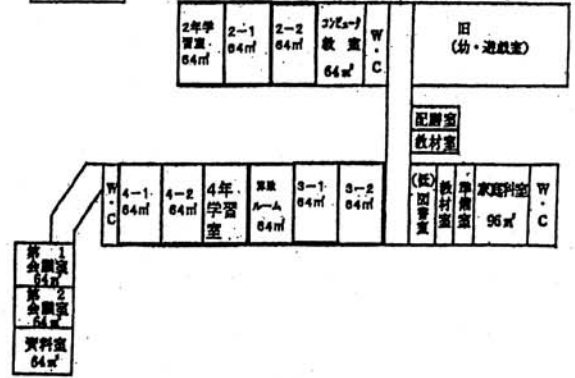
1階平面図



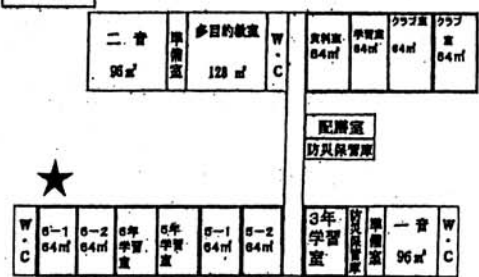
2階平面図



3階平面図



4階平面図



1階

2階

3階

4階

- ①図書室
- ②なかよし
- ③保健室

- ④パンダ教室
- ⑤高学年図書室
- ⑥第一理科室
- ⑦第二理科室

- ⑧PC教室
- ⑨低学年図書室
- ⑩家庭科室

- ⑪第二音楽室
- ⑫多目的教室
- ⑬クラブ室
- ⑭第一音楽室

- ①school
- ②police box
- ③bank

- ④bus stop
- ⑤flower shop
- ⑥restaurant
- ⑦hospital

- ⑧post office
- ⑨fire station
- ⑩department store

- ⑪train station
- ⑫park
- ⑬bookstore
- ⑭barbershop

★出発は6-1で、教室を出たら左側へ一方通行。

案内した場所で、道案内の役割を交代する。なお、次の目的地は封筒内のメモに記してある。

(2) 各グループの研究

① 5年グループ研究報告

5年グループでは、初めて英語と出会う5年生に向けて、英語ノート1 Lesson1「世界のこんにちはを知ろう」の活用例と、授業ですぐ使える教材例を紹介します。

<英語ノート1 Lesson1「世界のこんにちはを知ろう」の活用例>

○英語だけでなく、国際理解の中の英語活動という位置づけから…

英語ノートを使って・・・Lesson1「世界のこんにちはを知ろう」

世界の言葉の一つとして英語を体験していく。

レッスンプラン 英語ノートデジタル版を使用します。電子黒板を使って視覚的に訴え、負担を減らします。

導入) 電子黒板の画面を見ながら、国名を当てるクイズをする。

首都は？言語は何語？など

展開) 画面をオフにし、音声を聞かせてどこの国の「こんにちは」か考える。

ニーハオなど馴染みのあるものから徐々に難易度を上げる。

→画面を見ながら一緒に言ってみる。

☆キーワードゲーム・・・一つキーワードを決め、その言葉が流れたらペアと挨拶しながら握手。慣れてきたらリピートもするとよい。ここで色々な握手があることも知らせる。(ハグ、お辞儀など)

チャレンジタイム。代表者に電子黒板を操作してゲームをする側になってもらう。

振り返り) 今日発見したことなど観点を決めて書く。「感想」では「おもしろかった。」ばかりになる。) クールダウンして終わるように。

○いきなり授業から入らずにゲーム的要素から始める…

ジャンケンゲームだけでも盛り上がります。Rock Scissors Paper 1, 2, 3!

日本語と意味は同じことを伝えます。→国際理解の一端になります。

○音声を入れるときは…

ア 電子黒板を使用する。止めやすいし、画像が動くので子どもは喜ぶます。

イ AETの方にICレコーダーに単語などを録音してもらう。英語ノートのCDにはあまり単語は入っていません。あらかじめ録音しておくで発音に自信がなくても安心です。

ウ リズムにのって発音する。アクセントが自然に身に付きます。先生→子ども(一斉)、子どもをグループに分けて交互に発音、スピードアップなどパターンを変えて飽きずに行けるだけたくさん練習するようにします。

エ ゲームを活用する。単語を聞き取るのにふさわしいゲーム(キーワードゲーム、カルタなど)と、発音させるのにふさわしいゲーム(チェンゲーム、ナンバーコールゲームなど)があります。ねらいを定めてゲームを選びます。

<授業ですぐ使える教材例>

(1) 初めて取り組むゲーム

- ・ じゃんけんゲーム (英語ノート I p.16 Lesson3)

英語ノート1のCDに英語・中国語・韓国語のじゃんけんが入っています。

先生をリーダーにクラス全員で行ったり、誰かリーダーを決めてじゃんけんをしたり楽しく導入できます。

- ・ サイモンセズ (船長さんの命令) ゲーム

クラスルームイングリッシュを学習した後に、早速やってみましょう。

Stand up Sit down Jump Turn around Walk など

- ・ キーワードゲーム

二人の間に消しゴムを1つ置き、頭の上に手を置いておいて、指示された言葉が聞こえたら、消しゴムを取り合います。

新しい言葉をしっかり聞くことができます。

- ・ クイズ

ア 私は誰でしょう? ヒントを言って当てる。最初は日本語でも。

「私は果物です。」「私は黄色い。」「わたしは、サルの好物です。」

イ なくなったのは? 黒板のカードを 目隠ししている間に隠す。

ウ 動物探し 初めころは、日本語でも。(英語ノート1 p.42)

エ クイズ大会をしよう。(英語ノート1 p.44)

オ 箱の中身は? (英語ノート1 p.47)

- ・ 歌を歌おう。

ア Hello Song (英語ノート1 p.11)

イ Head Shoulders Knees and Toes (英語ノート1 p.22)

ウ Ten steps (英語ノート1 p.17)

エ Sunday Monday Tuesday (英語ノート1 p.52)

(2) 聞くことを目的にしたゲーム

- ・ キーワードゲーム
- ・ ビンゴ
- ・ カルタ

(3) 新しく習った語を発音することを目的としたゲーム

- ・ リバークロッシングゲーム

その日に学習した単語のカードを並べ、両サイドから言っていきます。出会ったところで、じゃんけんをして、負けたチームは次の人にバトンタッチしていきます。

(タイヤとびや平均台で行うじゃんけんゲームと同様)

- ・ 伝言ゲーム
列の先頭にその日習った単語や文を伝え、後ろへ伝えます。
- ・ ペアマッチゲーム
絵カードを裏返して机上に広げトランプの神経衰弱の要領であわせ、英語で言えたらカードをゲットできます。(英語ノート付録のカードを切り取ってもできる。)

英語ノート 1 Lesson 5 Lesson 6 Lesson 8 Lesson 9
- ・ ステレオゲーム
習った単語を2～3人で同時に発音し、誰が何と言っているのか聞き分けます。
- ・ スネークス・アンド・ラダーズ・ゲーム 英語ノート 1 p. 20
2人で行います。
ア ジャンケンで勝つと「グー」1ます 「チョキ」2ます 「パー」3ます進める。
負けるとすすめない。
イ 勝ったらこまを進め、止まった数字を言う。いえなければ、その回は進めない。
ウ はしごの下で止まれば、はしごを登ることができる。ただし、上の数字が言えなければ、戻らなければならない。
エ 蛇の頭に止まった場合、尻尾まで戻る。さらに、そこの数字も言う。
オ ぴったり止まらなくてもゴールとする。

(4) コミュニケーションを目的としたゲーム

- ・ 自己紹介
名刺を作り、クラスの人と交換していく。
- ・ インタビューゲーム
好きなものやその日のトピックをランダムにインタビューしていく。
高学年では、女の子は女の子同士、男の子は男の子同士という傾向がみられるので、インタビューの相手が異性だとポイントアップなど工夫をするとよいでしょう。
- ・ 買い物ゲーム
たとえば「カレーライス材料」とか、「好きなもの」とか、店の人と買い手になってやり取りする。
“Here you are.” “Thank you.”
“You are welcome.” 普段の授業から、このフレーズを取り入れるのもよいでしょう。
- ・ すごろく 英語ノート 1 p. 62
グループで行います。指示に従って英語で答えます。

② 6年グループ研究報告

授業モデル

外国語活動の目標は、

「外国語を通じて、言語や文化について体験的に理解を深め、積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度の育成を図り、外国語の音声や基本的な表現に慣れ親しませながら、コミュニケーション能力の素地を養う。」です。

この目標は三つの柱から構成されています。

I 外国語を通じて、言語や文化について体験的に理解を深める。

II 外国語を通じて、積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度の育成を図る。

III 外国語を通じて、外国語の音声や基本的な表現に慣れ親しませる。

上記の三つをおさえながら授業を構成していくことが大切です。下記のような授業構成が考えられます。

ア Greeting (あいさつ)

日付、曜日、天気、調子などの受け答えをする。リズムに合わせて行うなどの工夫もできる。

(例) T: How are you? S: I' m fine/ great/ happy.

T: What day is it today? S: It' s Tuesday/ Thursday.

T: How is the weather? S: It' s sunny/ cloudy.

イ Review and Warm up (前時の復習)

本時の主題にスムーズに入るために、前時までの既習事項の復習を行う。歌やチャンツでリズムよく発音できる簡単な活動を取り入れると良い。

(例) チャンツ…絵カードを見ながら、オルガンの8ビートやタンバリン、カスタネットなどのリズムに合わせて、発音させる。リズムに合わない長い単語などはあまり取り扱わないようにする。

ウ Topic (本時の主題)

本時の学習内容を知る。デモンストレーションをするなど、効果的に理解させることが大切である。本時で初めて学習する表現は、後のコミュニケーション活動で児童が自信を持って発言できるように、様々なパターンで練習させる。

児童が飽きないよう変化のある繰り返しが必要である。次のような工夫が考えられる。

- (1) 教師の後に続いて
- (2) 児童だけ
- (3) クラスを半分に分けて
- (4) ペアで

エ Practice (練習・活用)

本時の学習内容をゲームやアクティビティを通して練習し、コミュニケーション活動を行う。その際、覚えた単語を使う楽しみを味わえるような活動内容を扱う。単元によっては外国の文化や日本の文化の理解を進めるような内容も含める。ペアやグループ、クラス全員で活動できる2つ程度のアクティビティを取り入れると良い。

例) インタビューゲーム

ビンゴゲーム

キーワードゲーム

チェンゲーム

カードゲーム など

オ Challenge (チャレンジ)

本時の表現活動を何人かの児童に前で発表させる。

カ Greeting (ふり返り)

一時間の学習のふり返りをふり返りカードに書く。その際、記述欄には英語活動を通して気づいたことや驚いたこと、初めて知ったことなどを書くように声かけする。

③小中連携グループ研究報告

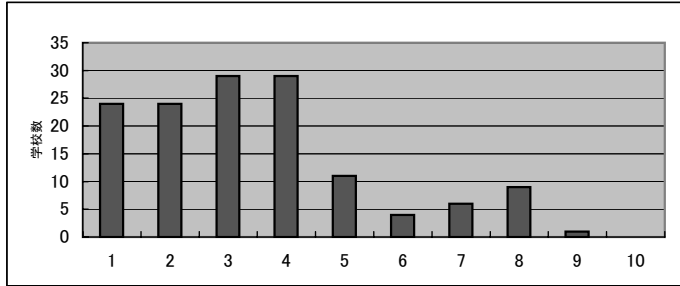
小中連携グループでは、小中連携の視点から、本市各小学校での外国語活動の取組および各中学校における小学校外国語活動に関する意識等についてアンケート調査を行い、外国語活動を体験してきた子どもたちがスムーズに中学校英語に移っていけるように小学校・中学校間の相互理解を深めていくための課題や方策について考察しました。

アンケートは、平成21年12月～平成22年1月に、本市全小・中学校を対象に実施しました。小学校では英語担当者、中学校では英語科教員にご回答いただきました。

小学校外国語活動に関するアンケート結果（小学校）

（35校中32校提出）

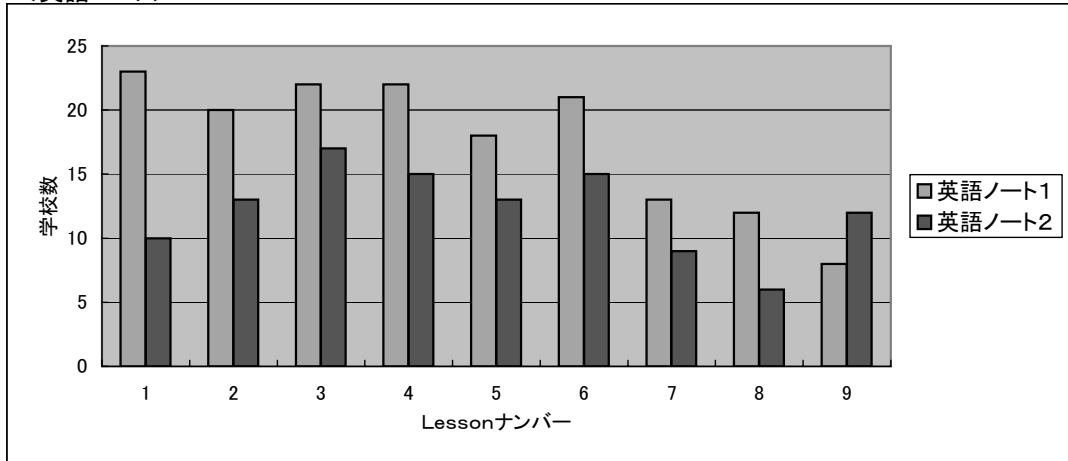
（1）授業では、どのような活動をしていますか。（複数回答可）



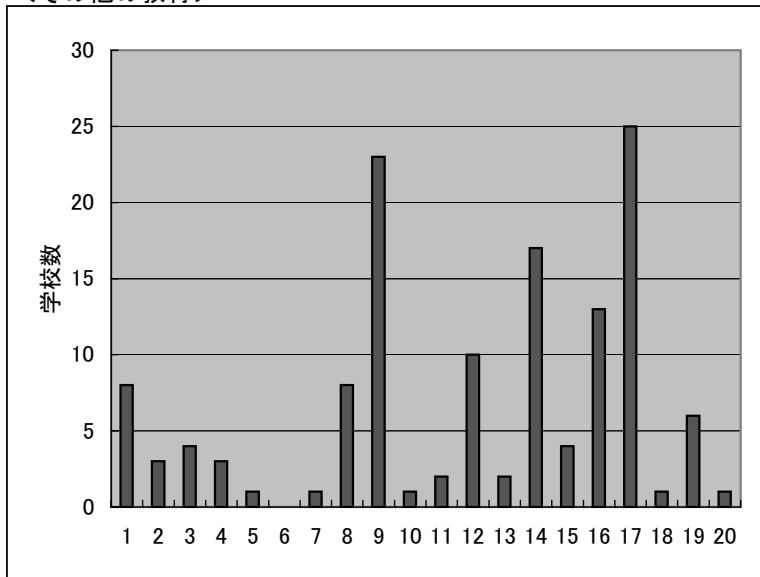
- 1 歌
- 2 チャンツ
- 3 クイズ
- 4 ゲーム
- 5 文字遊び
- 6 絵本の読み聞かせ
- 7 スピーチ
- 8 ロールプレイ
- 9 作品作り
- 10 その他

（2）教材は何を使っていますか。

<英語ノート>

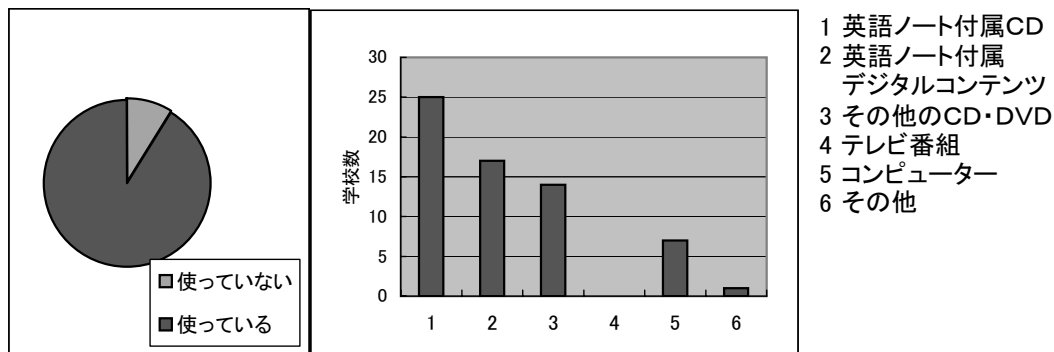


<その他の教材>



- 1 地図
- 2 キャラクター人形
- 3 地球儀
- 4 ウォールチャート
- 5 パネル
- 6 広告
- 7 英語ポスター
- 8 パペット
- 9 絵カード
- 10 パンフレット
- 11 子どもの作品
- 12 写真
- 13 絵本
- 14 ワークシート
- 15 カルタ
- 16 カード
- 17 フラッシュカード
- 18 おはじき
- 19 ボール
- 20 世界のコイン

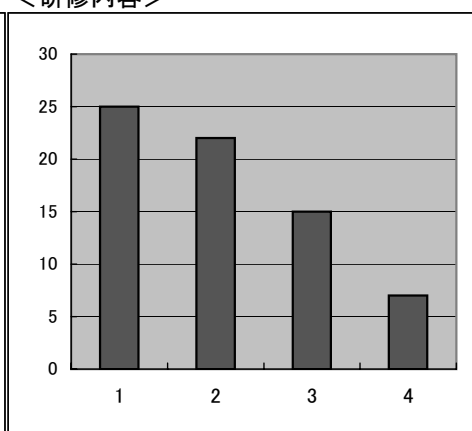
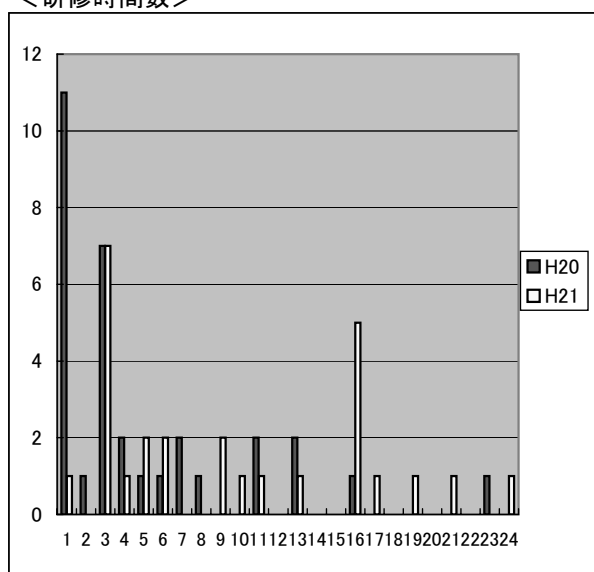
(3) 音声や映像を使っていますか。



(4) 平成20年度・21年度に外国語活動の校内研修を行いましたか。

<研修時間数>

<研修内容>



<講師を招いて話を聞く>の内容

- ・関西外国語大学の教授に来ていただき、中学校ブロックで研修した。
- ・市教委指導主事に来ていただいた。(模擬授業)
- ・中学校英語科教員によるチャンツの研修
- ・これからの英語活動について
- ・授業の進め方
- ・スキルアップ(語学)
- ・H23に向けて指導と評価について
- ・英語活動全般
- ・指導法について
- ・AETによるクラスルームイングリッシュ
- ・低中高を通しての英語活動の実践例
- ・担任が行う授業の進め方
- ・指導計画の作り方

<中核教員または英語担当者が行う>の内容

- ・ゲーム(アクティビティー)・歌
- ・クラスルームイングリッシュ
- ・電子黒板の使用法
- ・担任とAETが協力して行う作業
- ・英語ノートの紹介
- ・指導案作り
- ・デジタルコンテンツの紹介
- ・1時間の授業の構成について
- ・中核教員研修の内容を伝達

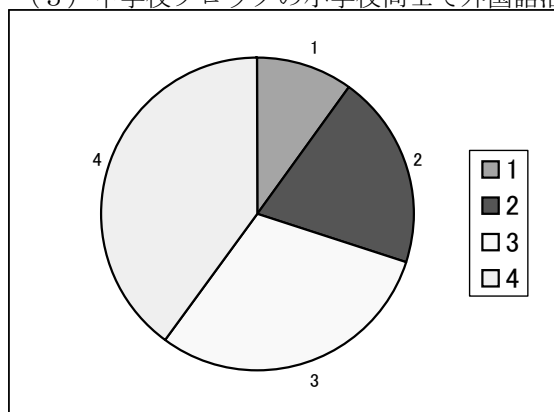
<研究授業(公開授業)>

- ・各学年1回ずつ行う。
- ・5年・6年で
- ・AETを活用した授業

<教材づくり>

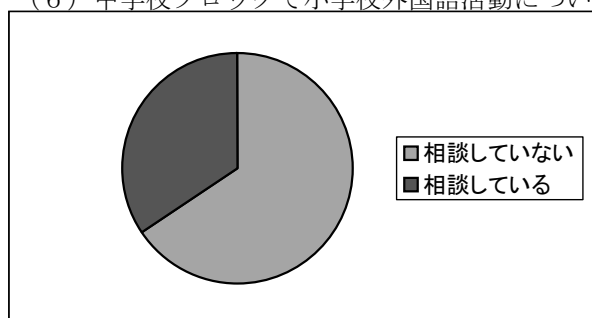
- ・「えいごばたけから」フラッシュカード作り
- ・購入した教材の整理・準備
- ・英語ノートにそった教材作り

(5) 中学校ブロックの小学校同士で外国語活動について相談しましたか。



- 1 相談して、同じ内容で進めている。
- 2 相談しているが、それぞれの学校で進めている。
- 3 相談して、時間数だけそろえている。
- 4 相談していない。

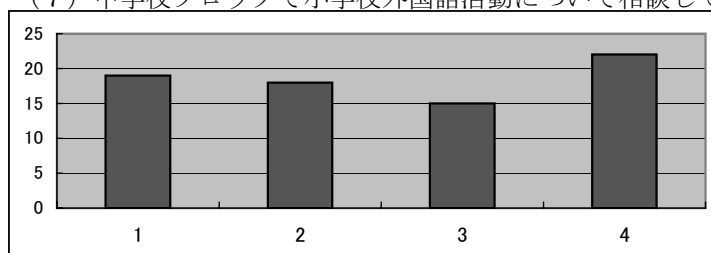
(6) 中学校ブロックで小学校外国語活動について相談していますか。



<具体的な内容>

- ・年1回小中ブロック協議会を持つ
- ・中学校の授業を見て(録画)話し合いを行う。
- ・中学校ブロックでの交流会にて、外国語活動について話し合った。
- ・計画案作成時に内容の確認
- ・小中連携の内容確認
- ・小中交流会で英語部会で話した。
- ・今までの取組を全体で確認
- ・時間数・内容の確認

(7) 中学校ブロックで小学校外国語活動について相談しているか。



- 1 英語が苦手
- 2 教材、教具がそろっていない
- 3 授業の進め方がわからない
- 4 発音に自信がない

<その他>

- ・全てにおいて職員一同不安
- ・英語を全くやらない子・学力の低い子への指導について
- ・AETとの相談時間がほとんどない。
- ・電子辞書が購入できず、発音確認できずに困っている。
- ・カラーコピー機がないので教材作りに困っている。
- ・学校としてのカリキュラムをどう作って良いのか
- ・補助の方が欲しい(英語・日本語の両方話せる方)
- ・AETとTTをしていくのか、AETに任せるのか、現実と、研修で聞く話が違うので困る。

<まとめ>

平成23年度の外国語活動の本格実施に向けて、各校で工夫して取り組んでいこうという様子が見受けられます。英語ノートの単元では、5年生は前半の単元を中心に、6年生はまんべんなく使用し、取り組んでいる様子が見受けられます。校内研修では、現場の状況を考えると、なかなか時間が取れないというのが現実であると思いますが、それぞれの学校で時間を捻出し、校内で色々な研修に取り組んでいることがわかりました。そして、小中連携の観点で見ても、同じ中学校ブロックの小学校同士で、話し合いを行っている学校が半分以上を占めています。しかし、これからは、共通認識を持つためにも、中学校を含めた中学校ブロックでの話し合いを行うにすると、よりよい連携が図れるのではないのでしょうか。

そして、今、現場で外国語活動に関して、抱えている不安は、授業の組み立て方、教材作り、AETとの関わり方などがあげられます。不安を解消し、前向きに取り組んで行くためにも、外国語活動の目標は「コミュニケーション能力の素地」を育成することであり、「英語」を教えるのではないことを、小学校の教職員はもちろん、中学校側も再確認していくことが必要なのではないのでしょうか。

09年度小学校外国語活動アンケート

小学校外国語活動に関するアンケート結果（中学校）

1 小学校での外国語活動で、どんなことをしているか知っていますか。

- ① 知っている 14校
② 知らない 4校

2 小学校外国語活動に使われている「英語ノート」についてどう思われていますか。

- ・カラフルで絵も多く、子どもたちが楽しんで取り組める内容であり、入門期としては妥当である。
- ・担任の先生が使うのに苦勞されるのではないかとと思われるので、「英語ノート」活用のための研修が必要である。

3 中学校の初めの英語はどのような内容ですか。

- ・フォニックス
- ・アルファベットの文字指導
- ・あいさつ
- ・簡単な会話
- ・クラスルームイングリッシュの説明
- ・英語のシャワーを浴びる活動
- ・身近な英語探し

4 小学校と、外国語活動について、どのような内容を話し合いましたか。

- ・小中連携会議等を活用した、授業参観、授業研修、交流、出前授業
- ・小学校の先生が苦勞されていることや互いに望むこと

5 小学校での外国語活動に求めることはなにか。

- ・子どもたちが、英語は楽しいと感じられるようにしてほしい。
- ・文化や言語に興味・関心を持つ態度を身につけてほしい。
- ・英語を声に出すことや話すことに親しんでほしい。
- ・フォニックスや発音練習をやってほしい。
- ・ローマ字の練習をたくさんしてほしい。
- ・ブロック内の小学校で、指導内容や進度をある程度統一してほしい。
- ・ブロック内で連携する機会をもちたい。

【まとめ】

新学習指導要領では、小学校外国語活動のねらいは、コミュニケーション能力の素地を養うこととなっており、文字指導、発音と綴りとを関連付けて指導することは中学校の指導内容となっています。小学校での活動を通じて、コミュニケーションに対する意欲的な態度を育て、その上に中学校で体系的な指導を積み上げていくということを、小・中学校の教員が共に認識し、連携して指導にあたることが重要であると思われま